

■**楨有恒** 登山家。アイガー東山稜初登攀に成功して力を世界に示し、〈敗戦〉後、マナスル初登頂で登山ブームに。

まきありつね

日清戦争始・1894＝ 仙台市で、{奥羽日日新聞}主筆をつとめていた福沢諭吉門下のジャーナリストの子に生まれる。

父の転職に伴って、幼時を神戸・京都で過ごし、

日比谷公園・1903＝ 9歳：仙台に戻る。

日露戦争終・1905＝11歳：

満鉄発足・1906＝12歳：仙台二中に入学、

中学校時代から、父の勧めで、兄とともに各地の登山旅行に出るようになり、

明治天皇没・1912＝18歳：慶応義塾大学法学部予科に入学すると、

ますます山にのめり込み、

第一次大戦始1914＝20歳：日本山岳会に入会し、

21ヶ条要求・1915＝21歳：「アルペン行」の著者の哲学科教授鹿子木員信とともに、{慶大山岳会}を創設。

民本主義・1916＝22歳：楢・穂高縦走等本格化、

ロシア革命・1917＝23歳：卒業。

本格政党内閣1918＝24歳：コロンビア大学に留学するものの、〈第一次世界大戦〉末期で聴講がままならず、

ベルリン条約・1919＝25歳：イギリスに転学、ウェストンと出会い、アイガー東山稜を勧められ、スイスに渡る。

原敬首相暗殺1921＝27歳：*アイガー東山稜初登攀に成功したほか、数々の登攀をして、日本の登山家の存在を世界に知らせ、日本に凱旋、アルプスの岩登りや氷雪登攀の技術を伝え、日本の登山界の発展の契機となった。

水平社結成・1922＝28歳：楢ヶ岳冬季初登頂。

関東大震災・1923＝29歳：「山行」。立山松尾峠で遭難し、同行の板倉勝宜が凍死する試練に出会う(日本初の山岳遭難事故)。

護憲三派圧勝1924＝30歳：楨が資金の過半を提供して、アイガー東山稜山案内人組合が小屋を建設。細川侯爵の勧めで、

治安維持法・1925＝31歳：*日本初の海外遠征隊を編成し、カナディアン・ロッキーのアルバータ山に世界初登頂、

円本時代始・1926＝32歳：秩父宮とともにヨーロッパのアルプスに登攀、

叔父が創業し父も役員だった製糖会社からの資金援助で、登山を続け、

世界恐慌・1929＝35歳：自らもその会社に就職、

海軍軍縮条約1930＝36歳：

満州事変・1931＝37歳：陸軍大臣大島健一の娘と結婚。

五一五事件・1932＝38歳：長男が誕生。

日中戦争始・1937＝43歳：

縁故で出世は早かったが、

第二次大戦始1939＝45歳：

居心地が良くなかったらしく、

日米開戦・1941＝47歳：

..... 1942＝48歳：半官半民の南洋拓殖に転職。

年金+総武装 1944＝50歳：ボルネオ行きを命じられたが、妻の反対で断る。日本山岳会会長に就任。

敗戦..... 1945＝51歳：大空襲で自宅とともに蔵書や登山道具一切を失い、友人の好意で長野県大町に移住、

新憲法公布・1946＝52歳：公職追放となって、会長も退任。

新憲法施行・1947＝53歳：大町から帰京、

極東裁判決・1948＝54歳：アルバータ山第二登成功のアメリカ隊が、23年前山頂に残してきた記念ピッケルを発見し、上部を保管。

三大事件..... 1949＝55歳：鶏の飼料会社を始め社長に就任、

独立回復..... 1951＝57歳：追放解除となって、日本山岳会会長に再任。

メデー事件・1952＝58歳：マナスル遠征計画を持つも一大学では困難と判断した京大西堀栄三郎らから移譲され、偵察隊を派遣。

TV放送始..... 1953＝59歳：第1次マナスル登山隊を送り出すが、あと一步で退却。

自衛隊発足・1954＝60歳：第2次登山隊は、現地の天然痕流行などが聖峰汚しのせいとされて、麓にも行けず退却、

55年体制始・1955＝61歳：多くの説得で、遂に会長を退任して、第3次マナスル隊隊長を引き受け、

国連加盟..... 1956＝62歳：*初登頂に成功して凱旋帰国、各地講演や記録映画「マナスルに立つ」公開で、登山ブームの巻き起こすとともに、ネパール人にも認められて国交も実現。文化功労者。「マナスル登頂記」、

なべ底不況・1957＝63歳：

インスタマン・1958＝64歳：「ピッケルの思い出」などの著書があるが、*飼料会社が倒産、以後、年金と財産切り売りで生活。

安保闘争..... 1960＝66歳：

タイタイ病始・1961＝67歳：初登頂以来、日本各登山隊をサポートしてきたシェルパが雪崩で死去すると、遺児らの育英会もできる。

大学紛争始・1965＝71歳：アルバータ山第五登に成功した日本隊がピッケルの下部を持ち帰る。

いざなぎ景気1966＝72歳：週刊誌の企画で60年ぶりに故郷の泉ヶ岳に登る。

美濃部都知事1967＝73歳：正しい登山を推進してきた文部省の登山研修所が立山に開設され、以後、その講師もつとめる。

大阪万博..... 1970＝76歳：イギリスのアルパインクラブ名誉会員に推挙される。

石油ショック1973＝79歳：

ケアンズ事件1975＝81歳：

貿易摩擦問題1980＝86歳：脳梗塞を起こし、

昭和天皇没・1989＝95歳：その後、アルバータ山ピッケルが返還合体されることを知ることなく、没した。

産経「日本人の足跡1」、「この人どんな人」、平凡社百科事典、